

朝倉彫塑館通り沿道におけるまちづくりについて

1 背景・目的

谷中地区においては、令和 3 年度に谷中地区景観形成ガイドラインを策定し、街並みの維持を図っている。令和 5 年度から特徴的な景観を持つ朝倉彫塑館通りにおいて、沿道独自の修景基準のあり方について「谷中地区まちづくり協議会」で話し合うとともに、令和 6 年度には建物所有者等とアンケートやワークショップを行うなど意見交換等を行ってきた。

実施したアンケート、ワークショップの結果から、生活文化や風習、住民同士のつながりと景観を結び付けて考えている方が一定数いることが確認できた。そこで修景基準検討を進めていくにあたり、基準の高質化を目的に、谷中全域の歴史や生活文化資源といった地域資源について調査を実施する。

2 沿道における経緯

- 令和 4 年 9 月 谷中地区まちづくり協議会朝倉彫塑館通り沿道部会発足
- 令和 6 年 6 月 アンケート第一回目実施 ※3頁参照
- 令和 6 年 7 月 ワークショップ実施 ※4頁参照
- 令和 7 年 2 月 アンケート第二回目実施 ※4頁参照

3 地域との意見交換、アンケート、ワークショップでの主な意見について

- (1) まち並みの魅力として、具体的な建築物への評価以外に、雰囲気が良い、植栽している敷地が多いなど、生活空間としての印象や、風習等、生活文化に由来する要素を評価している方が一定数いた。
- (2) 沿道の建築物の外観について、特定の建物様式へのルール化を求める意見よりも、各自の考えで良いという意見が多かった。また、住民同士の連帯や関係構築といった、取組による地域コミュニティ醸成を期待する意見も一定数あった。

4 調査について

(1)概要

谷中の景観や雰囲気構成する要素となっている、人々の営みや活動等の風習及び建造物等について、文献や地域のインタビュー等から収集し、整理・体系化する。

(2)修景基準への効果について

本調査により、歴史をさかのぼって地域の背景を分析し、建築様式や景観等に影響している歴史および生活文化資源を抽出して景観配慮事項等に反映し、谷中地域の文脈を継承させた修景基準としていく。

5 補正予算額(案)

歳入 5,709 千円

歳出 11,418 千円

6 今後の予定

令和7年7月～

調査実施

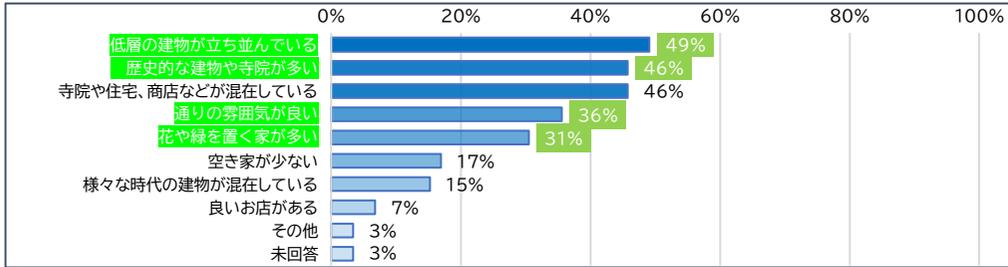
令和8年度以降

朝倉彫塑館通り沿道修景基準素案着手

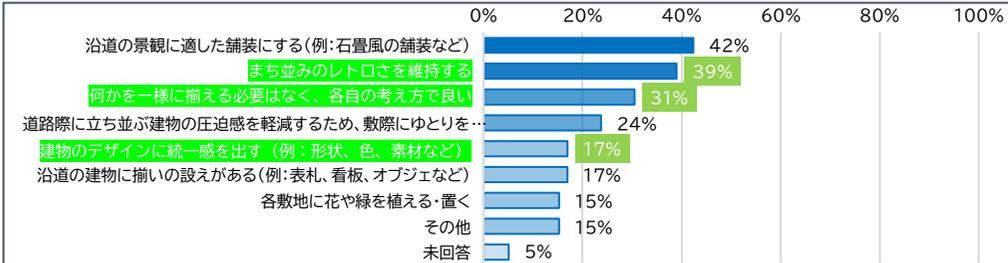
第1回目アンケート 集計結果

■調査対象者 朝倉彫塑館通り沿道に土地、建物をお持ちの権利者 194 名
■配布・回収日 発送日：令和6年6月27日（木）、回収期限：令和6年7月12日（金）
■回収結果 配布数：194 件 総回収数；59 件 総回収率：30%

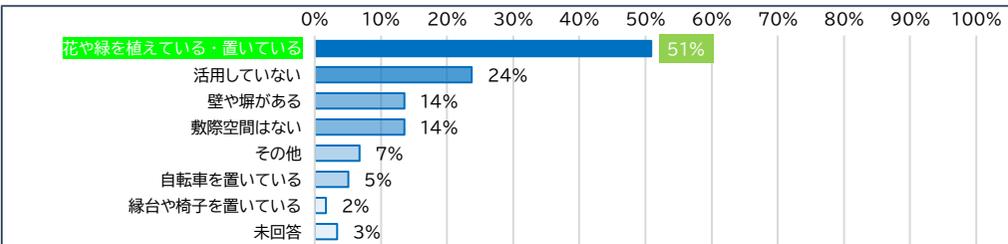
○ 朝倉彫塑館通りのまち並みで良いと思うところはありますか。(複数回答)(n=59)



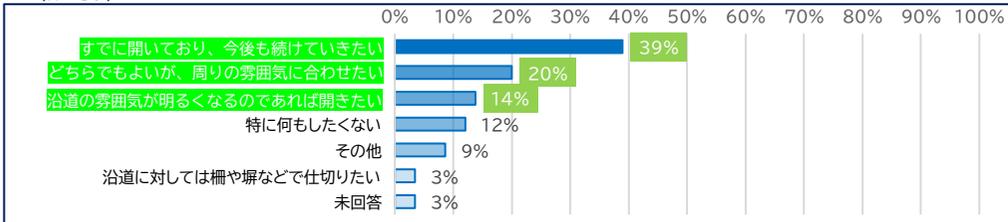
○ 朝倉彫塑館通りのまち並みで改善により、魅力が向上すると思う案はありますか。(複数回答)(n=59)



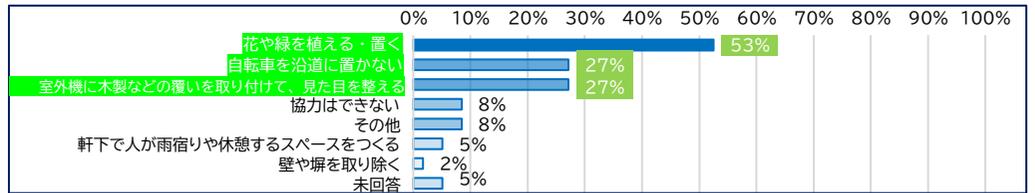
○ あなたの建物の敷実空間は、どのように活用していますか。(複数回答)(n=59)



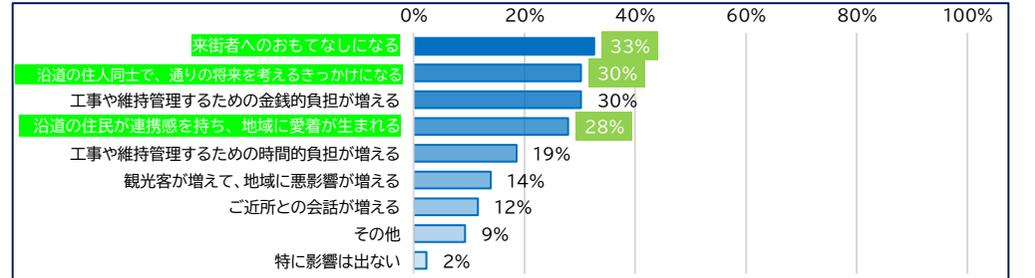
○ あなたの敷地の敷実を、通りに向けて開かれたイメージで揃えることについて、どのようにお考えですか。(n=59)



○ あなたは敷実空間について、どのようなことであれば協力ができそうですか。(複数回答)(n=59)

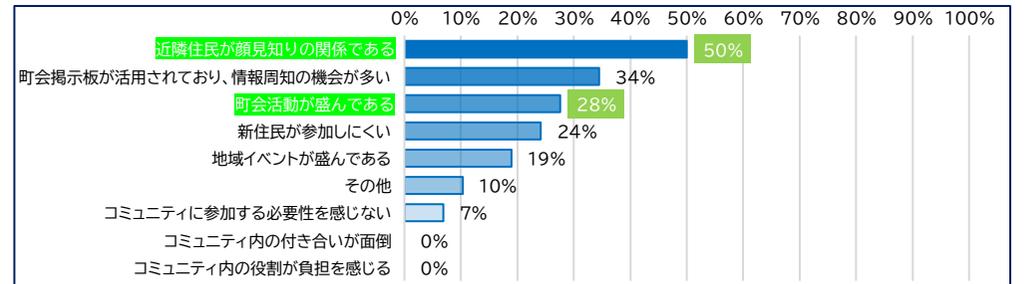


○ 敷実空間に関する取組みをルール化した場合、どのような影響が出ると思いますか。(複数回答)(n=43)

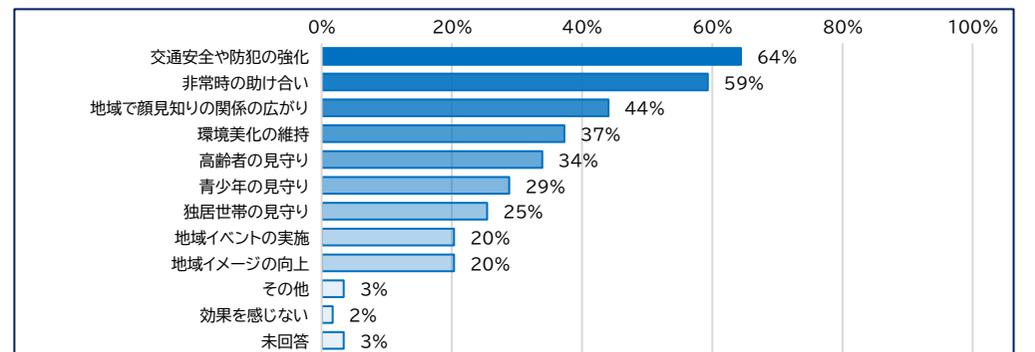


【まちづくり活動について】

○ あなたの朝倉彫塑館通りのコミュニティのイメージについてどう思いますか。(複数回答)(n=59)



○ あなたはコミュニティの活性化によってどのような効果があると感じますか。(複数回答)(n=59)



ワークショップ 実施結果

■開催日時	令和6年7月28日(日)午前
■対象	朝倉彫塑館通り沿道に土地、建物をお持ちの権利者
■参加者数	10名

まち歩きをした上で、朝倉彫塑館通りのまち並みについて、2つのチームでワークショップを行った。

【テーマ】

- ①:朝倉彫塑館通りで、将来に渡って守っていききたいもの
- ②:朝倉彫塑館通りらしい、植栽デザインの検討

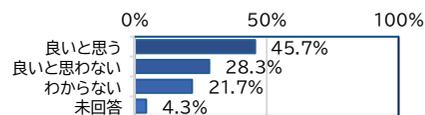
■ワークショップのまとめ

テーマ	主な意見
①	<ul style="list-style-type: none"> 望ましい数際の工夫としては、花壇、植木鉢、ベンチ、植栽の設置 朝倉彫塑館通りならではのものとして、路地と広い空がある 通りの各建物とそこにある植栽には一体感があって良い 商店の店先が開放的で良い
②	<ul style="list-style-type: none"> 植木鉢等は、シンプルなデザインの方が寺町に合う プランターの色や素材については、暗めの色や焼き物風の素材が木製が良い 規模的には大きくないほうが良い スペースの工夫が必要であれば壁掛けや吊り下げ型の植栽が良い

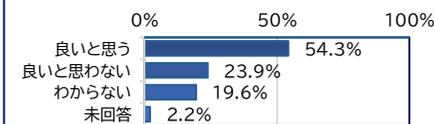
第2回目アンケート 集計結果

■調査対象者	朝倉彫塑館通り沿道に土地、建物をお持ちの権利者
■配布・回収日	発送日:令和7年2月6日(木)、回収期限:令和7年2月21日(金)
■回収結果	配布数:173件 総回収数:46件 総回収率:26.5%

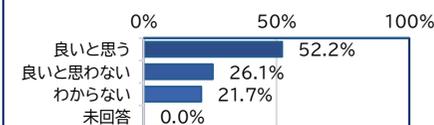
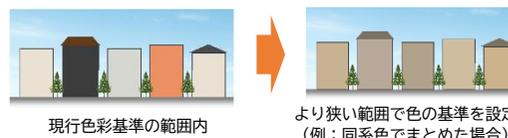
○以下の写真のように、沿道の建物に、**屋根や庇を付けて通りに対して軒を揃える**ことについて、どのようにお考えですか。(あてはまるもの1つに○をつけてください。)(n=46)



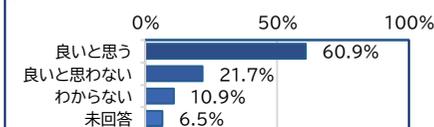
○以下の写真は、谷中でよく使われている外壁素材です。このような素材を**建物の外壁の素材として指定し、景観をそろえる**ことについて、どのようにお考えですか。(n=46)



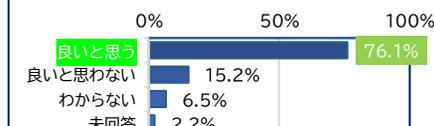
○令和4年度より施行されている「谷中地区景観形成ガイドライン」では、谷中で今後建てる建物の色について基準を設けていますが、**ガイドラインで示されているよりも、さらに狭い範囲の色を朝倉彫塑館通りの色基準として設け、将来的に外観を揃えていく**ことについて、どのようにお考えですか。(あてはまるもの1つに○をつけてください。)(n=46)



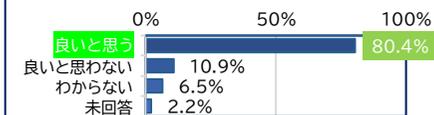
○写真のように、**通りから見える部分の窓や外壁のどこかに、木調の縦格子を取り付けて、景観的な統一感をはかる**ことについて、どのようにお考えですか。(あてはまるもの1つに○をつけてください。)(n=46)



○写真のように、通りから見える部分の**室外機等の建築設備に、目隠しを設置**することで景観性を向上させようとする事について、どのようにお考えですか。(あてはまるもの1つに○をつけてください。)(n=46)



○第1回目のアンケート結果より、朝倉彫塑館通りでは、既に数階空間に緑化を行っている方が多い状況でした。以下の写真のように、**数階空間に花や緑を置く**ことをどのようにお考えですか。(あてはまるもの1つに○をつけてください。)(n=46)



○朝倉彫塑館通り沿道の景観の未来について、**沿道住民と区が共に検討していく場がある**と良いと思われますか。(あてはまるもの1つに○をつけてください。)(n=46)

